

令和3年度における情報管理案件について

令和3年夏以来、本学の内部メールの学外流出や、学長の発言とされる記事がネットニュースに掲載されるなど、本学の情報管理に関わる案件が発生しました。

このことについて、現在までの対応状況と今後の取組予定についてご報告いたします。

1 問題とされた記事の掲載状況

- (1) 令和3年8月2日付ネットニュース「スマートフラッシュ」
- (2) 令和3年9月28日付ネットニュース「サキシル」
- (3) 令和3年12月22日付ネットニュース「スマートフラッシュ」

2 対応状況

- (1) 内部メールの学外流出については、提供者を特定できなかった。
- (2) 「サキシル」の記事は調査不能。
- (3) 学長の発言については、理事長から学長に事実確認を行った結果、記事の内容のままの発言は記憶にないが、一部似たようなこと発言はあったとのこと。理事長より誤解を生むような言動は慎むよう口頭で注意を行った。
- (4) これらの情報管理に関わる案件は、本学のガバナンス体制を問われる案件と重く受け止め、事実確認と今後の対応を検討していくため、令和4年2月4日に学内のコンプライアンス委員会を開催し、「公立大学法人横浜市立大学監事監査規程」第11条（事故又は異例の事態の監事への報告）に基づき、2名の監事に調査を依頼し、必要な助言をいただくことを決定した。
- (5) 令和4年3月2日、2名の監事より学長にヒアリングを実施した。

3 今後の予定

学内のコンプライアンス委員会において、監事からの助言を基に、今後の対応を検討してまいります。